

# 国語科学習指導案

〇〇中学校

教諭 〇〇 〇〇

1 日時・場所 令和7年〇月〇日

2 学年 第1学年

3 単元名 文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができる。

4 単元について

## ○ 単元観

文章の構成や展開を捉えることは、筋道立てて考える力の育成につながる。そのため、この単元では、『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」の文章を教材として扱いながら、文章の構成や展開の仕方を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのかを根拠をもとに考えさせることで、筋道立てて考える力を育てたい。

本教材は、説明的な文章の中でも、仮説検証型の文章である。「前提となる知識」「筆者が立てた仮説」「仮説の検証1」「仮説の検証2」「結論」の五つの部分から構成されている。筆者はまず仮説を提示し、検証からうまれた問題点を挙げ、その問題点から二つ目の検証を行うことで、自らの仮説の妥当性を確認するという構成になっている。実験・観察によって得た事実から、仮説の妥当性を主張するという展開が、筆者の主張に説得力を与えているため、構成や展開を捉え、その効果を考えるには適した教材と言える。

## ○ 生徒観 (略)

## ○ 指導観

指導にあたっては、検証を二回行うことで自らの仮説の妥当性を主張する、という筆者の文章構成の工夫を理解させたい。そのために、筆者の文章の設計図を作るという言語活動を通して、どのような構成になっているかを捉えさせた上でその効果を考えさせたい。

また、二度の検証を行う構成に説得力があるか、根拠をもとに評価させ、自分の考えをもつ活動につなげたい。

5 単元の目標

(1) 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。

[知識及び技能](2)ア

(2) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

[思考力、判断力、表現力等]C(1)エ

(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	情報と情報との関係について粘り強く理解しようとしており、文章の構成や展開について、今までの学習を生かしながら根拠を明確にして考えを伝え合おうとしている。

7 本単元における言語活動

- 文章の設計図を作る。

8 単元の指導と評価の計画（全5時間）

時	○学習内容・学習活動	知	思	主	評価規準【評価方法】
1	○大まかな内容を捉える ・知っておきたい言葉の意味調べをしておく（授業前の宿題） ・過去の説明的文章との違いを考える ・鳴き声クイズ（デジ教） ・全文を通読する（デジ教） ○単元の日標を知る		○		○大まかな内容を捉えることができる。【授業観察】
2	●筆者の文章の構成を分析することができる。 ○本文を段落ごとにわけたカードを班ごとに配布し、並び変える ・接続語や内容に着目し、順番に並べかえる ・序論・本論・結論などの項目のカードを作り、段落とあわせて並べる ○なぜその構造になったのか、どこからそう考えたのかを問い返ししながら進める	○			○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。【授業観察】
3 本 時 4	●筆者の文章の構造の設計図を作ることができる。 ○前回の学習を振り返り、構造を図式化する（個人） ・設計図を作るために、どんな内容が必要か考える（全体） ・必ず書く内容を決める（全体） 仮説・結論・実験・結果など		○		○文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。【ワークシート】

5	<p>●文章の構成や展開にどんな効果があるか、根拠とともに考えることができる</p> <p>○作成した設計図を交流する</p> <p>○文章の構成や展開にどんな効果があるか、根拠と合わせて書く</p>				<p>○ ○ ○文章の構成や展開について、これまでの学習を生かしながら根拠を明確にして考えを伝え合おうとしている。</p> <p>【ワークシート】</p>
---	--	--	--	--	---

9 本時の目標

- 筆者の文章の構造の設計図を作ることができる。

10 本時の指導過程と評価

	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 10分	<p>1 漢字の学習（5分）</p> <p>2 前時の復習</p> <p>3 めあての確認</p>	<p>○各班で構成を確認した学習を振り返る</p>	
文章の設計図を作ることができる。			
展開 30分	<p>4 文章の設計図の説明</p> <p>5 筆者の文章の構造を分析するために、設計図を作成する</p>	<p>○文章を書くときに設計図を作ることのメリットを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造がわかりやすくなる</li> <li>・説得力が増す</li> <li>・文章が書きやすくなる など</li> </ul> <p>○設計図を作るために、どんな内容が必要か考えさせる</p> <p>○進まない生徒には、入れたほうが良い言葉のアドバイスを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説・結論・実験・結果など</li> <li>・序論・本論・結論で分けてもよい</li> </ul>	<p>思考・判断・表現</p> <p><b>B 評価</b></p> <p>例：二つの仮説を検証していることを設計図の中に書くことができている。</p>
まとめ 5分	<p>6 二つの仮説を検証していることが書けている生徒の設計図を紹介する</p>	<p>○筆者の文章の構造として、二つの仮説のつながりかたをどう捉えているかに注目させる</p>	